

東大物性研究所 液化室だより

e · x 5904

＝ヘリウム液化機更新工事近況報告＝

新しいヘリウム液化機の導入による工事が始まって、はや1ヶ月が経とうとしていますが、この辺で工事の進捗状況についてお知らせします。

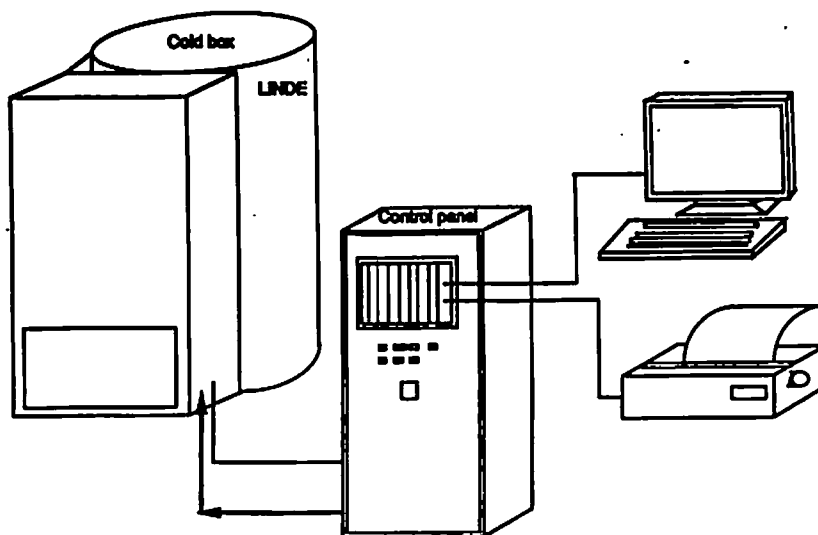
現在、液化室内は既設設備の撤去と、ビット工事、基礎工事も完成し、一部の新しい機器も搬入されています。これまで搬入された主な機器はヘリウム液化用圧縮機、回収用圧縮機、分離膜式ヘリウム精製器、70 m³ガスホルダー、空調機、冷却水設備等で、今は所定の場所に鎮座ましまして配管、配線等の工事が始まるのを待っているところです。

一方、これから入る機器はヘリウム液化機、6000 L液体ヘリウム貯槽、中圧ガスタンク、回収ガスメーター、ガス乾燥機等です。ご本尊のヘリウム液化機（ドイツ・リンデ社TCF50型150 L/H）はすでに日本に到着していますが、今月末に行われる高圧ガス保安協会の検査を受けるため、ある会社の川崎工場に待機しています。

全ての機器がそろうのは3月上旬になりますが、たとえ全部がそろってもこれから更に各種の配管や配線の工事があり、また、調整、試運転なども控えており、完成までにはまだまだ時間がかかります。

皆様には工事による騒音、振動、粉塵、停電、断水、大型車の進入とあらゆる障害を発生させて大変ご迷惑をおかけしていますが、液化室の「一日でも早く液化運転ができるように」という強い要望に応え、工事関係者や施設掛の方の全面的な協力のもと、工事は完成予定日をめざして日夜作業が続いています。

もう少しのご辛抱とご協力をお願いします。



TCF50型 ヘリウム液化機の構成図

(左からコールドボックス、コントロールパネル、パソコン、プリンター)